## 【資料編】

1	協働区民フォーラムの経過・これまでの歩み・・・・・・・50
2	協働区民フォーラム活動経過表・・・・・・・・・52
3	協働区民フォーラム会則・・・・・・・・・・・・60
4	協働区民フォーラム会議のルール・・・・・・・・65
5	協働区民フォーラムと目黒区のパートナーシップ協定書・・・・66
6	中間報告会での意見等・・・・・・・・・・・・・69
7	提言案の地域別説明会及び意見票での意見等・・・・・・73
8	協働推進に関する検討全体の流れ図・・・・・・・・・81

## 1 協働区民フォーラムの経過・これまでの歩み

期間等(平成)		検討経過	会議等数	延人数	
		・ 平成 14 年 5 月に、準備会がスタート。準備会には、	区の公募	に手を上	
		げた 34 名の区民が参加し、「行政の検討に先立つ区	民の自主的	な検討組	
		織をどのようにつくるか」の検討が行われた。			
)生/# <b>^</b>	\	約一年の検討(延べ 53 回の会議等)を経て、「会則案」・「会議ルール			
準備会(14.5~15.7)		案」・「パートナーシップ協定案」がまとめられた。			
		・ 平成 15 年 7 月 23 日のめぐろ区報の発行から 8 月末	まで、準備	会と区の	
		担当課が協力し、協働区民フォーラムの設置の提案の	ヒメンバー	募集の呼	
		びかけなどの発会に向けた取り組みが行われた。			
		・ 募集の結果、区民約100人の参加登録があり、9月			
	第一段階	7日の第1回全体会議から「協働区民フォーラム」			
15.9.7		がスタート。			
(第1回		・ 第1回全体会議では、会則・会議ルールが承認され、			
全体会議)		パートナーシップ協定を区長と締結。			
~		・「関係」「ひと」「もの」「かね」「情報」の分科会に	49 回	577人	
15.11.1		分かれ、テーマや課題を議論するとともに、メンバ			
(第2回		ーの協働に対する共通認識を図った。			
全体会議)		・ 協働区民フォーラム事務局を旧区役所前の中町二			
		丁目共同ビル1階に設置し、自主運営を開始した。			
		・ 第1段階の議論を踏まえ分科会のテーマ決め、テー			
		マ内容に沿った分科会名に変更するとともに、分科			
15.11.2		会ごとに5つの検討項目を設定し議論を進めた。			
~		・ 第2段階スタートに当たって、自主学習会として他			
16.2.9		自治体の事例研究を行ったほか、講師を招いての講	58 回	563 人	
(第3回		演学習会の開催や目黒区の協働に関する現状につ			
全体会議 )		いての区担当からの説明会を実施した。			
		・ 第3回全体会議では、分科会間の情報交換により、			
	第	進捗の違いや今後の進め方の確認を行った。			
	— 段 階	・ 第3回全体会議の状況を踏まえ、各分科会の論点を			
	階	整理し、検討課題をそれぞれ2つに集約し、中間ま			
16.2.10		とめに向けて集中的に議論を行った。			
~		・ 各分科会は中間まとめを意識した議論を行ったが、			
16.4.17		分科会間の進捗の差異もあったため、結果的には	45 🗆	398 人	
(第4回		「まとめ」とはせず、検討状況公表の位置付けで「中			
全体会議)		間報告」とした。			
— гг Днж <i>)</i>		・ 第4回全体会議では、この「中間報告内容」をメン			
		バーの共通認識とし、報告会の開催等により区民意			
		見を募集する取り組みについて確認した。			

<ul> <li>・ 中間報告内容を中心に、さらに提言として盛り込む べき項目や議論の足りない点などについて、議論・整理を進めた。</li> <li>・ 5月には、区内5ヶ所の住区センターを会場に中間 報告会を開催し、参加した区民に向けて中間報告の 説明と意見交換を行った。</li> </ul>	396 人
(第5回 がら、さらに議論を進めるとともに、提言作成の手順などの検討を行った。 ・第5回全体会議では、提言作成の考え方、提言の骨子、提言作成に向けた手順などを明らかにした「提言方針」について決定し、以降の方針に基づく作業を確認した。	330 X
	295 人
・ 横断的な検討を行うため、合同分科会を開催し、提言案を基に検討を進めた。     ・ 提言案の発表説明会と講師を招いての講演会を併せて実施し、区民に向けて意見募集と地域別説明会を周知した。     ・ 区内 22 ヶ所の住区センターを会場に説明会を開催	507人
	2736 人